

お お く ぼ ひ ろ ふ み

大久保博文 県議会報告

自由民主党
鹿児島県議会議員団



大久保博文事務所 (2020年11月発行)
鹿児島県鹿屋市申良町岡崎 3451-1
TEL : 0994-63-2131・3012
FAX : 0994-37-3550
E-mail : kndsb010@yahoo.co.jp

令和 激動の時代

菅 義偉政権発足 塩田康一知事誕生 コロナ禍

2020東京オリンピック開催延期 鹿児島国体および鹿児島大会延期

ごあいさつ

皆さまにおかれましては、日頃より県政並びに私の県議会議員活動に温かいご支援を頂いておりま
す事に深く感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症により、世界中の多くの人々が生命を奪われ、健康を害し、社会経済活動に大きな影響を受けております。

我が国においても同様に、コロナ禍により、2020東京オリンピック延期、あらゆる社会活動が「自粛」により停滞するなど、大変な状況になっています。

本県においても、かごしま国体、かごしま大会が2023年に延期、学校休校、観光関連産業はじめあらゆる産業の低迷など、深刻な状況です。

今なお、世界的には感染拡大が続いている地域もあり、また、我が国においても、全国的な感染拡大も懸念され、予断を許さない状況であります。

一方、世界銀行は、世界経済マイナス5.2%及び日本経済マイナス6.1%と戦後最悪の事態を予測しており、今後、景気は大きな下振れリスクを抱えていると指摘しています。我が国をはじめ、世界的に景気減速傾向がはつきりと示されております。

国政では菅政権、県政では塩田知事が誕生し、新たな枠組みで政治が展開されています。

政治の役割は、国民の生命、健康、生活、財産を守ることにあります。新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎつつ、落ち込む景気を下支えする経済政策が求められます。

正しく新型コロナウイルス感染症をとらえて、いきすぎた「自粛」と「緊縮財政」を克服して、コロナ禍を乗り越えてまいります。

意見書

所属する産業観光経済委員会において、以下の意見書を発議しました。

サツマイモ基腐病対策の早期確立に関する意見書



森山ひろし衆議院議員、農林水産省職員、JA鹿児島きもつき関係者、生産者等と被害圃場の現場を視察するとともに、被害の現状及び対策に関し、意見交換した。

自由民主党鹿児島県支部連合会 政務調査会長就任

政策の調査研究及び立案するための役員である政務調査会長に就任。
あわせて、自民党の友好団体との要望聴取、意見交換など、
政策協議のとりまとめも行う。



6/11 令和2年第2回定例会での **個人質問**



質問項目

行財政について
①国の経済対策と本県予算との関わりについて
②今後の国の経済対策の見通しについて
新型コロナウイルス感染症について
①新型コロナウイルス感染症対策の考え方
②PCR検査について
③緊急事態宣言の事後的検証
はやぶさ2帰還について
太平洋新国土軸構想について
①太平洋新国土軸構想推進協議会および豊予海峡ルートについて
②錦江湾横断道路について
農政について
①農業農村整備事業について
②肝属中部畑地かんがい事業について
③笠野原畑かんストックマネジメントについて
④県営シラス対策事業第二甫木地区の農地保全排水路の取組状況について
⑤共栄地区の農地保全排水路整備の令和3年度の事業採択に向けた取組について
水産について
①養殖いけすのあり方について
②新たな養殖魚の開発について
教育について
①県立高等学校通学区域について
②9月入学について

具体的質問および答弁

1 農政について

(問) 肝属中部畑地かんがい事業、笠野原畑かんストックマネジメントの県営事業、県営シラス対策事業第二甫木地区、共栄地区の農地保全排水路整備の令和三年度の事業採択に向けた取組についてお示しください。

(答弁) 肝属中部畑地かんがい事業の附帯県営事業につきましては、本年度は、吾平北部地区など二地区が新規採択され、支線パイプラインや給水栓など畑地かんがい百ヘクタールの整備を行うこととしている。

笠野原畑地かんがいの県営ストックマネジメント事業については、本年度は、支線パイプライン7km、給水栓三百か所の更新を行う。

第二甫木地区農地保全排水路の取組について、本年度は、790mの排水路整備を行う。共栄地区の農地保全排水路について、本年度は、採択に係る国の審査を経た上で、事業申請を行うとともに、土地改良法に基づく手続等を進め、来年度の事業採択に向けて取り組む。

2 新型コロナウイルス感染症について

(問) 新型コロナウイルス感染症対策に医療崩壊を回避しつつ、死亡者数、重症者数の抑制を目指し、同時に、対策の影響による自殺者増を含めた社会的・経済的被害も最小に抑えることが大事であると考えているが県の考えを示せ。

(答弁) 県といたしましては、感染防止対策を行うに当たり、まずはクラスターを発生させないことが重要であると考えている。

新型コロナウイルス感染症拡大により、県民生活・県内経済に大きな影響が及んでおり、中小企業の資金繰り対策については、新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金として、県独自で、保証料をゼロとし、さらに四千万円まで一年間実質無利子化した。

甚大な影響を受けている中小企業者等に対しては、家賃等事業全般に広く使える最大二十万円の支援金を支給する。

国から示された方針等を踏まえ、感染拡大防止にしっかりと取り組みながら、ディスカバー鹿児島キャンペーンなど、段階的に経済活動を促進する事業を実施していく。

**令和2年度
鹿児島県予算
(9月補正後)**

**令和2年度 一般会計
9,318億
3,400万円**

要望活動 令和2年8月4日、中西 茂鹿屋市長に、「串良町の開発促進を求める住民の会」の皆さんと要望しました。



1. 岡崎、有里地区内水対策
 - (1)永和商店街付近の内水整備
 - (2)宮下、鶴亀地域(国道220号付近)の排水路整備
2. 河川整備
 - (1)串良川の細山田(堂園、生栗須、下中など)、永和地区の護岸整備、寄り洲除去等
 - (2)甫木川の国道220号までの整備を要望します。
3. 農地・農道整備の促進
 - (1)農道の拡幅、整備
 - (2)笠野原畑かん整備、シラス対策など農地整備の推進
 - (3)共栄地区農業用排水路対策の推進
 - (4)細山田地域(井料、北原付近)農業用排水対策の推進
4. 有里バイパス

中郷、大塚原地区付近の有里線と高隈串良線とを結ぶ路線の新設
5. 市営住宅地の整備

宮下住宅・岡崎住宅
6. 大隅支場跡地の再開発
7. 新型コロナウイルス感染症対策

9/17

令和2年 第3回定例会

代
表
質
問



1 新たな総合体育館の整備について

(問)

隣地所有者との協議を中止することとなったが、今後の整備に関する知事の考えおよび検討を進める上で「大規模スポーツ施設の在り方検討・委員会」の提言をどのように取り扱っていくのか。また、今回の補正予算に

「総合体育館基本構想策定事業」が盛り込まれているが候補地決定に向けた具体的な進め方について

市町村との連携強化に向けた具体的な取組について

(答弁)

「総合体育館基本構想検討委員会」を新たに設置するとともに、この委員会において、これまでの提言をベースにこれまでの検討経過や県議会に

おける語論議なども踏まえ、まずは、具体的な施設の機能や規模・構成等の検討を行い、その上で、整備候補地などについて検討を行っていく。総合体育館の整備に当たっては、まちづくりを所管する市町村との連携が重要であると考えていることから緊密に連携を深めていきたい。

2 交通インフラの充実・強化について

(問)

知事マニフェストには、「空港、港湾、道路など国際都市にふさわしい交通インフラの充実・強化を図ります」としているが、交通インフラの充実・強化についての知事の具体的な考えを示せ。

(答弁)

本県の地域資源を活かした産業や観光の振興、地域の活性化を図るため、県議会をはじめ、県民の皆様のご理解とご協力得ながら、もっと豊かで元気な鹿児島となるよう、陸海空の交通ネットワークの充実・強化に努める。

3 教育関係について

(問)

県立楠集中・高校の設立の経緯を充分勘案し、現在の様々な特色ある教育の質を担保しつつ、どのように共学化や全寮制の廃止に取り組みのかについて、在校生や保護者、地元の意向等も踏まえた上で慎重な対応が必要だが、知事の基本的な考え方と今後の進め方について示せ。



(答弁)

楠学校の共学化と全寮制の廃止については、男子校や全寮制であることを理由に入学した生徒もいることから、生徒や保護者も含め、周辺市町村などの関係者の

意見もどうかあったうえで、施設の改修やそれに係る財源の確保などを考慮しつつ、今後の進め方やスケジュールなどを検討したい。

4 新型コロナウイルス感染症対策について

(問)

高齢者施設内のクラスター化が懸念される中、入所者や施設職員等に感染が判明した場合の具体的な対応方針及び関係者への周知徹底について示せ。

(答弁)

県では関係団体等とも連携して、応援職員の派遣調整等を行うとしており、新型コロナウイルス感染症調整本部の「介護・福祉施設班」において、派遣の手順や費用負担など具体的な支援体制の整備について協議を進める。なお、感染者等が発生した際の初動対応や受入・派遣などの支援については、関係団体と連携して、高齢者施設に対し周知した。

※代表質問より主な項目を抜粋

議員活動の様子



東九州自動車道建設現場(串良町細山田)



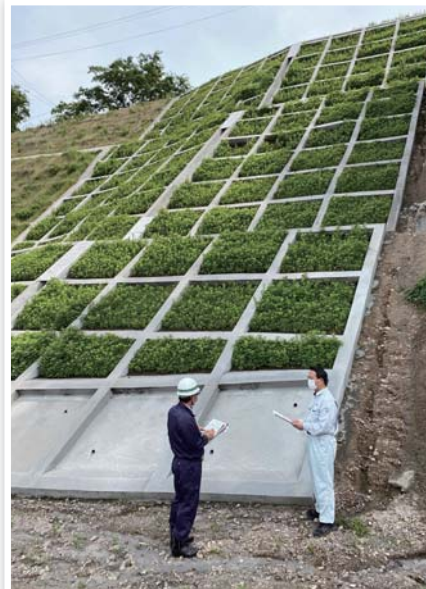
塩田知事と意見交換



錦江湾横断道路建設促進議員連盟 関門トンネル視察



『定例会を終えて』出演 10/18 放送(MBC)



垂水市浜平地区急傾斜事業現場視察



内閣府防災担当大臣と
国道269号線災害現場視察(7月豪雨)



菅総裁誕生の自民党総裁選に参加

共に語り合い、共にふれ合い、そして共に創る！

ふるさとを豊かに、活力のある地域のために。

生まれ育ったふるさと。学び続けます地域の事。

皆さまの声をお聞かせ下さい。

■大久保博文事務所

〒893-1603

鹿屋市串良町岡崎3451-1

(串良岡崎郵便局近く)
県道73号沿い

(TEL: 0994-63-2131)
FAX: 0994-37-3550)

大久保博文 経歴・プロフィール

■生年月日：昭和39年4月3日生

■学歴：県立鹿屋高等学校普通科を経て昭和62年(1987年)
鹿兒島大学法文学部法学科卒業

■資格：行政書士

●尊敬する人：西郷隆盛(言志四録を信奉し、無私を貫いた人格者)

■経歴：

日興証券(株)勤務、鹿屋市議会議員を経て
現在 鹿兒島県議会議員(自由民主党鹿兒島県議団)、
自民党鹿兒島県連組織委員長、自民党県議団副会長、
鹿兒島県議会総務委員長、同企画観光建設委員長等歴任

— 県議会等での主な役職等 —

- ・自民党鹿兒島県連 政務調査会長
- ・自民党県議団 畜産振興調査会 副会長
- ・自民党県議団 建設問題調査会 事務局長
- ・自民党県議団 自転車振興調査会 副会長
- ・自民党県議団 私学振興等教育問題調査会 副会長
- ・森林・林業活性化促進議員連盟 幹事
- ・錦江湾横断道路建設促進議員連盟 幹事長
- ・防衛議員連盟 副会長
- ・日本会議鹿兒島議員懇談会 副会長
- ・介護福祉政治連盟 幹事